

R NISSAY IT Report



システム運用の改善施策とは何か？

お客様の状況に応じた改善策をご提案いたします

システム運用の改善とは、システム作業を効率化、自動化することだけでなく、PDCAサイクルを意識した組織づくりや管理プロセスの見直し、設計の標準化などトータルで改善を進めITガバナンスを確立していく取り組みです。

しかしシステム運用の状況はお客様により区々です。お客様の状況を当社ノウハウに照らし、有効な改善策を検討しご提案いたします。

システム運用コンサルティングサービス

Nissay ITでは実績をもとに、5つのコンサルティングサービスを行っております

ITガバナンス確立に向け当社のノウハウを活用頂ければと考えております。

改善の1歩目はNissay ITにご相談！

・システム運用コンサルティングサービス

サービス	サービス内容	具体例／効果
運用体制構築支援	お客様の運用体制や機能・役割などを分析し、運用の機能・役割を最適な形で見直したTo-be像の明確化および実装を支援いたします。	<input checked="" type="checkbox"/> 機能と役割の明確化 <input checked="" type="checkbox"/> 人材の定義／育成計画の立案 運用統制力の強化
運用設計支援	運用の効率化・リスク低減などの観点から、運用設計を標準化し、開発フェーズから運用統制を実現する標準化プロセスの構築を支援いたします。	<input checked="" type="checkbox"/> 運用設計基準の策定 運用統制力の強化
運用管理プロセス構築支援	適切な運用管理業務の実現に向けて、運用統制を実現するための運用管理プロセスの構築を支援いたします。	<input checked="" type="checkbox"/> 運用移管運営の構築 <input checked="" type="checkbox"/> システム切替運営の構築 <input checked="" type="checkbox"/> オペレーション平準化 <input checked="" type="checkbox"/> セキュリティ対策運営の構築 品質・生産性向上
システム基盤維持管理業務構築支援	維持管理とは、現状のシステム基盤に対して、日々変化する業務アプリケーションやユーザーニーズを適合させるための業務であり、その実現に向けた取り組みを支援いたします。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持管理プロセスの構築 <input checked="" type="checkbox"/> 運用ドキュメントの作成 品質・生産性向上
運用業務自動化支援	システム運用におけるハンド作業の効率化や、運用自動化を目的としたシステム導入などを支援いたします。	<input checked="" type="checkbox"/> オペレーションの自動化 <input checked="" type="checkbox"/> インシデント管理基盤の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 特権ID管理のシステム化 コスト削減・品質向上

この記事に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

ITソリューション営業本部

TEL:03-5532-3044 FAX:03-5532-3022 E-mail: siinfo@nissay-it.co.jp

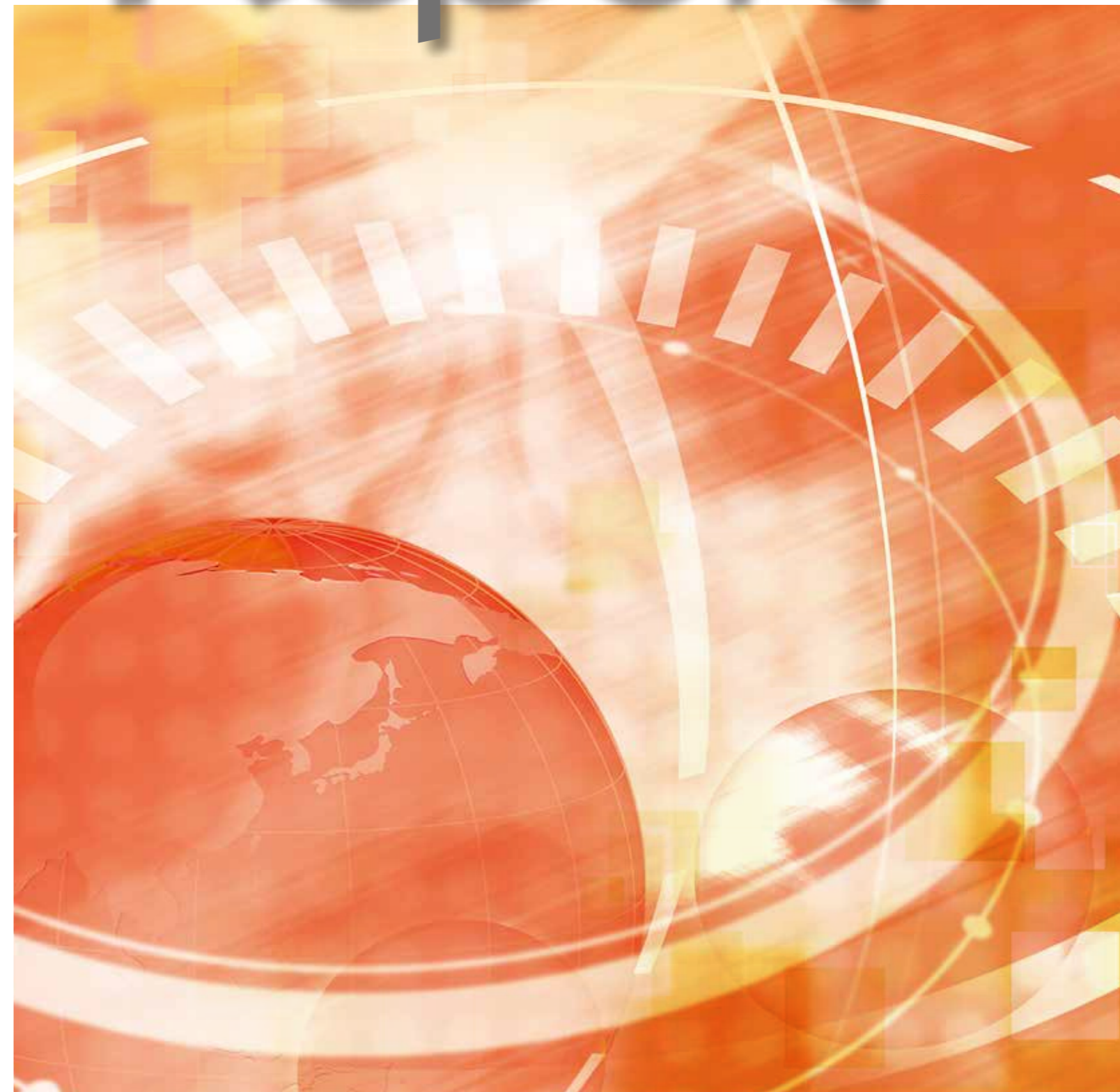
ニッセイ情報テクノロジー株式会社

〒144-8721 東京都大田区蒲田5丁目37番1号 ニッセイアロマスクエア TEL:(03)5714-4624 FAX:(03)5713-0178
<http://www.nissay-it.co.jp>

※本文中に掲載されている商品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。
 All Rights reserved. Copyright © 2017 Nissay Information Technology Co., Ltd. (本誌記事の無断転載・コピーを禁じます)



ニッセイ情報テクノロジー株式会社



ITガバナンスの今日的再評価と構築

ユーザー目線でのITガバナンス強化が現代企業の最重要課題

近年、不確実性の高まりに伴い経営環境とビジネスの変化のスピードが加速しています。このような環境変化とIT化の拡大進展によりサービスの多様化、サービス提供の迅速化がこれまで以上に重要視されつつあります。結果、企業が保有するシステムは多種多様化し、システム間の結合も多く、システム構成が非常に複雑化しています。

Uber(タクシー代替)、Airbnb(民泊)などに代表されるシェアリングエコノミーの拡大と異業種参入も現実のものとなってきています。またFinTech、AIなどの新技術やDevOps、アジャイルなどの新しい開発手法に関する記事や情報が巷に溢れているのはご承知の通りです。

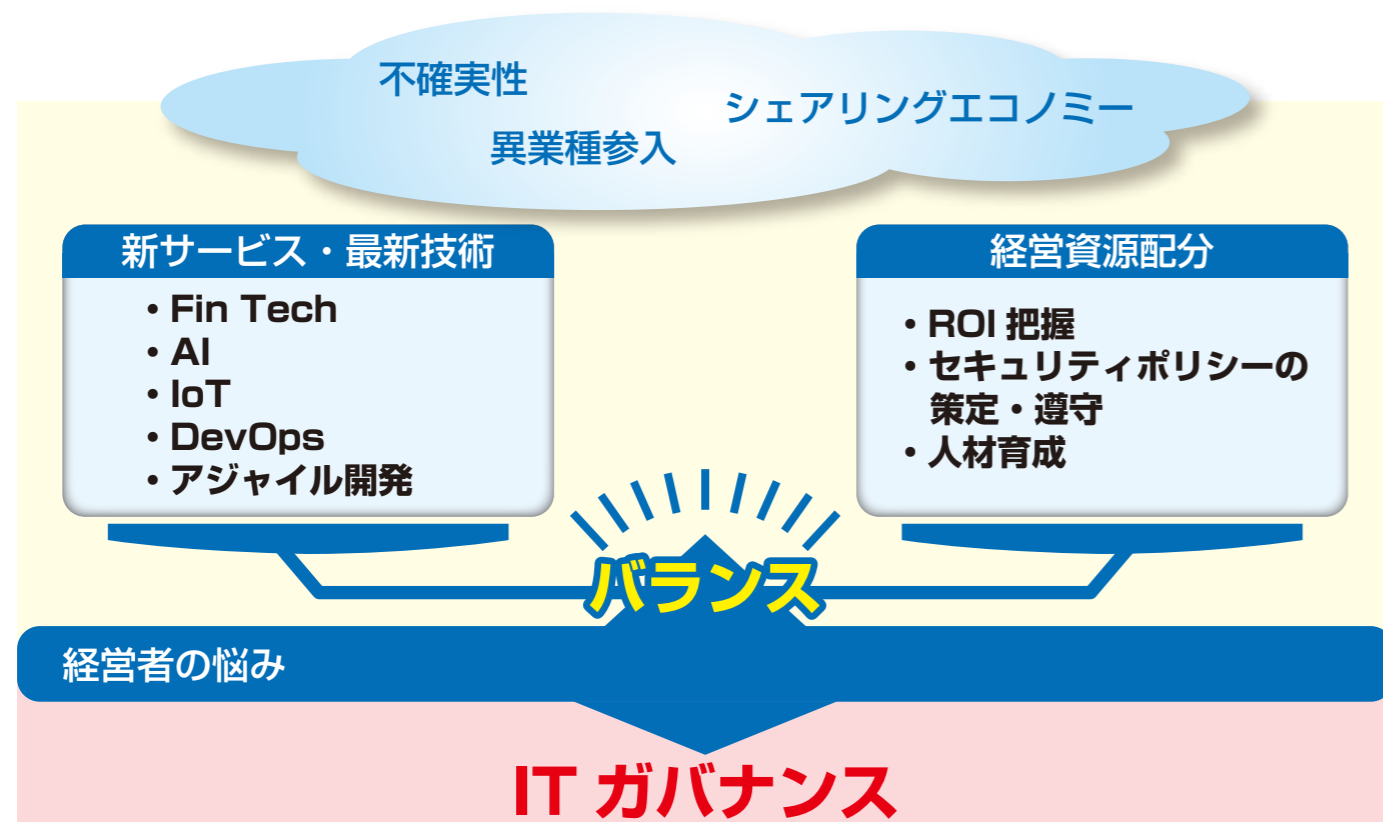
いずれにせよ、私達を取り巻くあらゆる事柄はますますIT抜きでは考えられなくなります。今後も高度IT社会に向かって進んで行くことは必然と思われる。

このようなIT依存やサービス競争が過熱する反面、下記のヒト・モノ・カネに関する3点は必要性が軽視されつつあるのではないかと懸念が残ります。

- ①システムの投資対効果(ROI)把握
- ②セキュリティポリシーの策定・遵守(情報漏えい対策、セキュリティ強化・リスクマネジメント、災害対策等)
- ③次世代を担う人材の継続的育成

今こそ新しい機軸でのITガバナンス強化の必要性が高まっています。

大規模なシステム障害や情報漏えいのニュースを目にする事も珍しくはなくなりました。ITへの依存度とともにこの傾向は益々高まります。ITガバナンス強化に立ち向かう事に出遅れはありません。致命的な問題を引き起こす前に、まず出来る範囲で1歩目を踏み出す事が最重要課題です。

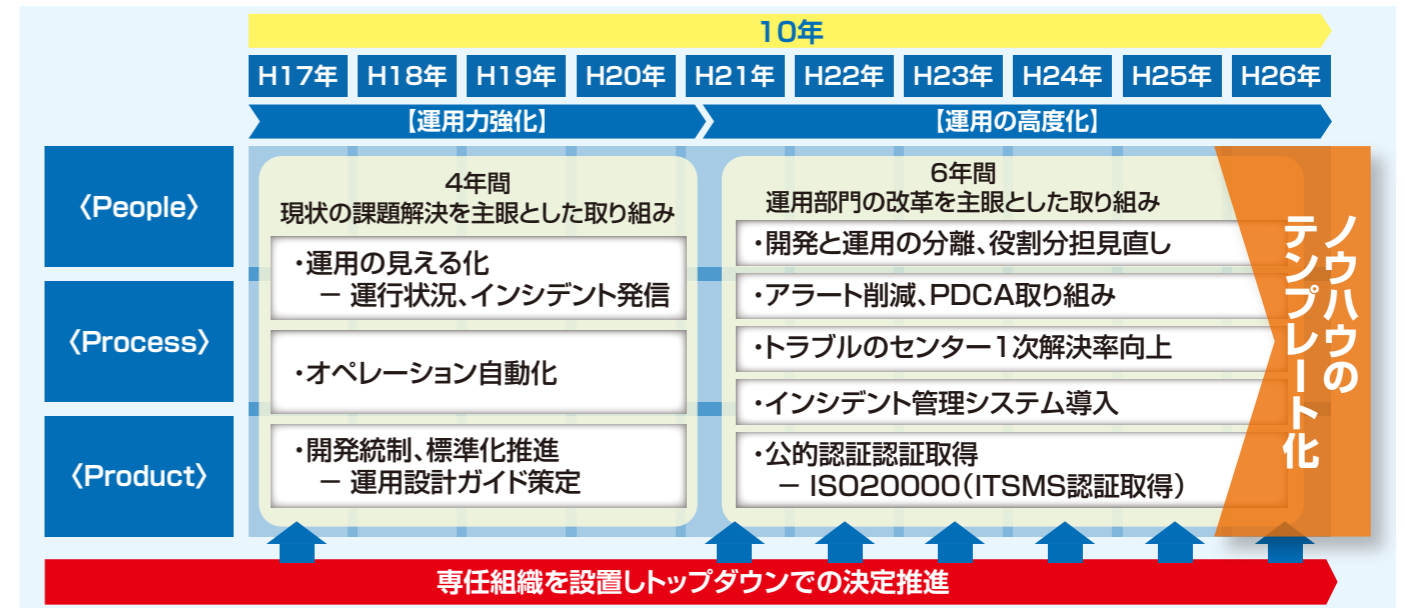


システム運用力の強化がITガバナンス拡充の要

「開発に対峙しうる運用力の強化」が重要であることは言い古された命題です。開発のみが重要視される環境では「稼働させることが最重要課題」であり、「採算性」「安全性」がおざなりにされる傾向が強く見られます。

昨今DevOpsやアジャイル開発の必要性が拡大する中で「システム運用力強化」は今更ながらに見直されつつあります。

システム運用力の強化こそがITガバナンス拡充に必要な不可欠な事項です。



ユーザー企業としてのNissay ITのノウハウを活用したシステム運用力の強化が可能

一般的に「システム運用の改善・改革には10年は掛かる。」といわれます。Nissay ITでは平成17年から本格的に運用改善に取り組み平成27年に完了しました。結局、世間で指摘される通り10年の期間を要してPDCA化が定着しました。

取り組みを通じて分かったことは、「課題の要素は

共通的」であり、これまでのノウハウを活かせば短期間での改善・効果が見込めるということです。環境の変化、働き方改革の気運が高まる今が一步目のチャンスと考えています。当社過去実績で活用出来る施策を取り入れ、強い運用への変革を支援させて頂ければ幸いです。

・取り組みのアプローチ

- ✓ これまでの取り組みによって得たノウハウをベースに初期診断
- ✓ 要対応項目の洗い出しと改善策立案(後述のシステム運用コンサルティング)
- ✓ 安定移行に向けた計画化提案

